

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

## ■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●丁番固定用のねじの締め忘れ・緩みなどは、開閉時に扉の脱落の原因となります。固定ねじは、ガタツキがないように固定してください。

## ■取付け上のお願

●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

●本製品の運搬・加工の際は、キズ付けないよう丁寧に取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。(ソリ・ねじれの原因になります。)

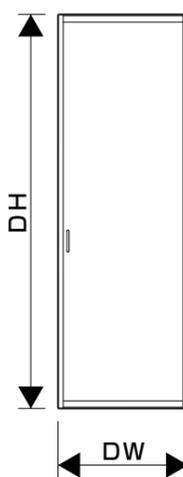
## ■部品・部材の明細

| 片開き     | 片開き天袋            | 両開き    | 両開き天袋            |
|---------|------------------|--------|------------------|
|         |                  |        |                  |
| 本体1枚梱包  | 本体1枚梱包<br>天袋1枚梱包 | 本体2枚梱包 | 本体2枚梱包<br>天袋2枚梱包 |
| 把手・丁番同梱 |                  |        |                  |

## ■部品セット (把手・丁番セット)

| 内容            | 標準  | 天袋  |
|---------------|-----|-----|
| 把手            | 1個  | 1個  |
| トラス小ねじM4×20   | 2本  | 2本  |
| 平座金4.5×10×0.5 | 2個  | 2個  |
| 丁番            | 大2枚 | 小2枚 |
| 皿小ねじM4×6      | 6本  | 4本  |
| 皿木ねじ2.7×16    | 6本  | 4本  |

## ■製品寸法



### ■在来用 (単位mm)

| 呼称     | DW   | DH  |
|--------|------|-----|
| 片開き戸   | 0718 | 686 |
| //     | 0720 | 686 |
| 片開き戸天袋 | 0704 | 686 |
| 両開き戸   | 1218 | 564 |
| //     | 1220 | 564 |
| 両開き天袋側 | 1204 | 564 |

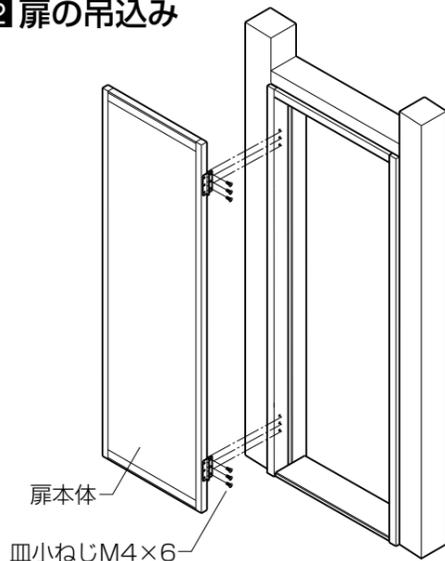
### ■2×4用 (単位mm)

| 呼称   | DW   | DH  |
|------|------|-----|
| 片開き戸 | 0618 | 678 |
| //   | 0620 | 678 |
| 両開き戸 | 1118 | 564 |
| //   | 1120 | 564 |

## ■取付け順序

### 1 把手の取付け

### 2 扉の吊込み



## ■取付け詳細

### 1 把手の取付け

●把手を取付けます。(図-1)

### 2 扉の吊込み

①扉に丁番を取付けます。(図-2)

※ねじが曲がらないように、必ず手回しで取付けてください。ねじが曲がると、扉が固定できなくなりますのでご注意ください。

※丁番は上下・左右とも共通です。

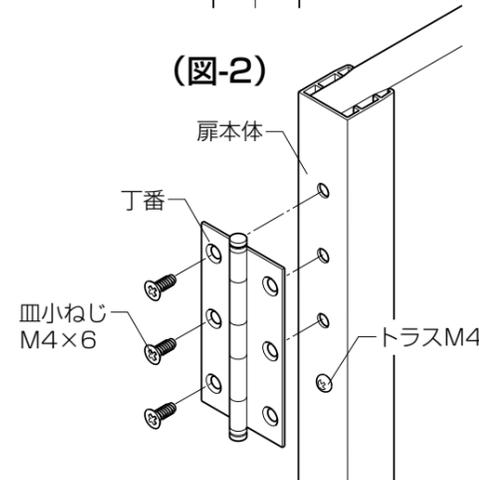
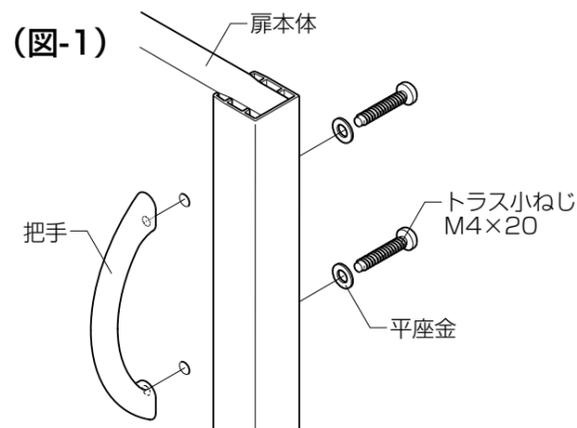
※天袋の場合は止めねじは2本になります。

②扉を枠に吊込みます。枠に丁番を木ねじ(皿木ねじ2.7×16)で取付けます。

※ねじが曲がらないように、又、から回りしないように必ず手回しで取付けてください。

### ▲注意

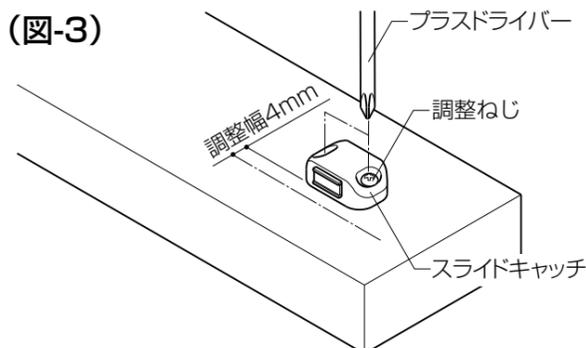
●丁番固定用のねじの締め忘れ・緩みなどは、扉の脱落の原因となります。ガタツキのないように固定してください。



## ■建付け調整

### ■マグネットキャッチの調整

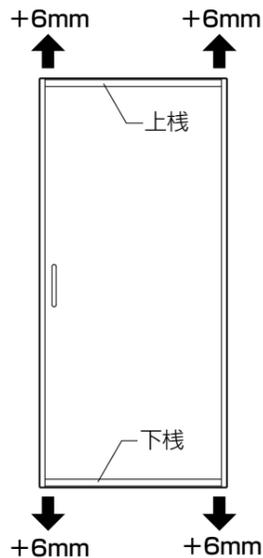
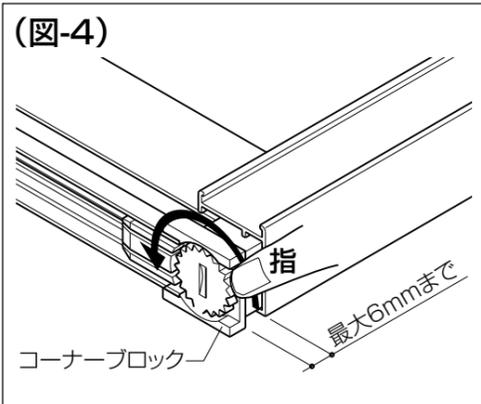
●マグネットキャッチが扉をキャッチしない場合、プラスドライバーで調整ねじを緩めて、マグネットを前後させてください。(図-3)



## ■建付け調整

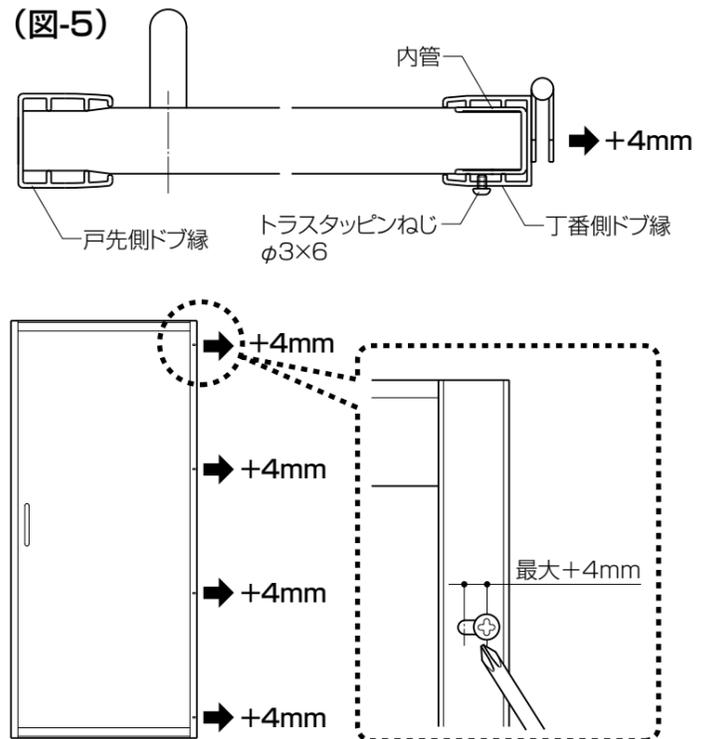
### ■上下の建付け調整

- 本体の上下棧には、上下の建付け調整機能が付いています。本体と枠のチリを調整する場合は、下棧の左右のコーナブロックのダイヤルを指で、左に回します。最大+6mmまで調整できます。(図-4)



### ■左右の建付け調整

- 本体の丁番側ドブ縁には、左右の建付け調整機能が付いています。丁番側ドブ縁に付いているねじ(トラスタッピンねじφ3×6)を緩めて、丁番側ドブ縁を外にズラします。最大+4mmまで調整できます。



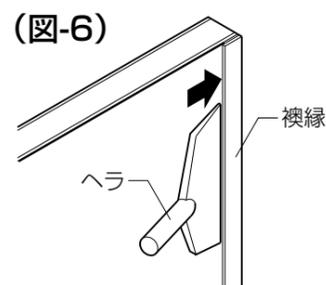
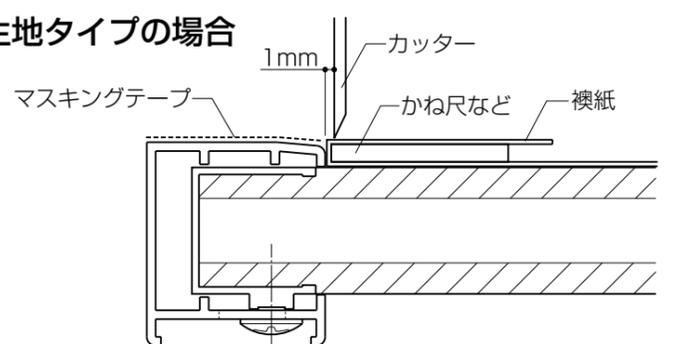
## ■襖紙(シート)の張り方・張替え方

### ■生地タイプ(K-2)現地張りの場合

- 生地タイプ(K-2)の和襖の場合は、現地で襖紙を張ってください。
- ①マス縁の調整ねじを緩め、マス縁を外にずらし最大調整幅(DW+4mm)とします。
- ②マスキングテープをマス縁に張ってください。
- ③新しい襖紙を張ります。
- 新しい襖紙を、上下・左右共に襖より10mmほど大きく裁断します。(予備切断)
- ④本体の生地面側(クリーム色)に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で付けます。
- 位置を確認して襖に張付けます。しわが入った所は、もう一度はがして張りなおしてください。次に押さえハケか、乾いたタオルで中央から上下左右へ空気を押し出すように軽くこすってください。多少のしわやたるみは乾燥すれば直ります。
- ⑤襖縁に合わせて襖紙をカッターなどで切断します。(本切断) 図に示すように襖縁の内側いっぱいまで襖紙を折返し、かね尺などを当て込みその上でカッターで切断してください。その際、下地(クリーム色)を傷つけないでください。傷が付くと縁がはずれて使用できなくなるおそれがあります。
- ⑥切り代をヘラなどで襖縁の内側に押し込んでください。(図-6)
- ⑦把手を取付けます。

※現場張りした襖紙を張替える場合は、上から重ねて張ってください。

### ■生地タイプの場合

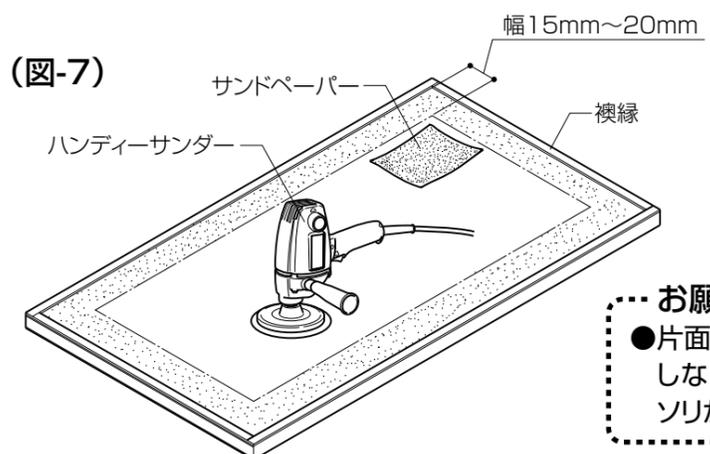
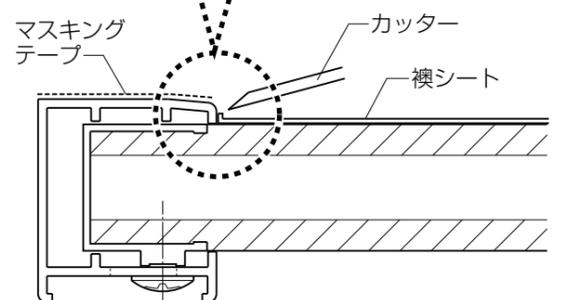
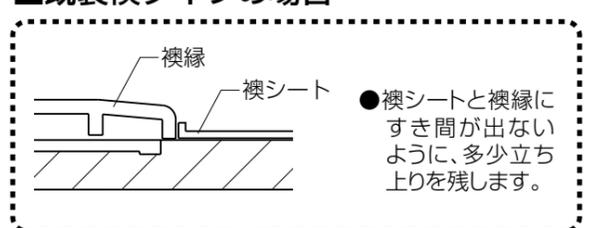


- お願い
- 片面をクロス張りにしないでください。ソリが生じます。
  - 両面生地タイプ(K-2)の場合は、両面共同じ襖紙を張ってください。

### ■既製襖タイプ(K-1、B-1・2、C-1・2)の場合

- 和襖は、襖シートを張替えることができます。
- 既製襖タイプは、襖シート表面のコーティング層をはくりし、新しい襖シートを上から重ねて張ります。
- ①襖縁を養生するため、マスキングテープを2枚重ねて張ってください。
- ②把手を外します。
- ③糊の密着性を高めるため、襖シートのコーティング層と着色層をはくりします。(図-7)
- 襖縁の際からサンドペーパー(手作業)で、襖縁に傷を付けないようにして着色層までをはくりします。(幅15mm~20mmで行ってください。)
- ハンディーサンダー(サンドペーパーP100又はP180位を取付け)で襖シート全体のはくりをします。
- はくりは着色層がなくなり、シート基材の紙が出てくるまで行います。襖基材のペーパーハニカム(ダンボール)までのはくりしないでください。
- ④襖表面に穴があいた場合は、周囲をマスキングテープで養生し、パテ(レススリート/白色)で基材(ペーパーハニカム)内部まですき間なく充てんし、平らにしてください。
- ⑤新しい襖シートを張ります。
- 新しい襖シートを上下・左右共に襖より10mmほど大きく裁断します。
- 市販の澱粉糊を襖全体に塗布してください。(糊は「ルーアマイルド」(ヤヨイ化学)をおすすめします。)水との希釈要領などについては説明書にしたがってください。
- 張りはじめに襖の柄が曲がらないようにしてください。又、張りはじめに襖シートがよれるとシートに負荷がかかり、はがれやすくなりますので慎重に行ってください。
- ヘラを使い、余分な空気・糊を外に出して襖シートのしわを取除いてください。
- 襖シートの密着をよくするため、全体をまんべんなく押えます。
- 全体が張り終わったら、襖縁の周囲の入隅分にヘラを使い襖シートを密着させ、余分なシートを入隅に合わせてすき間なくカッターで切断してください。
- ⑥養生のマスキングテープをはがし、把手を取付けます。

### ■既製襖タイプの場合



- お願い
- 片面をクロス張りにしないでください。ソリが生じます。